

# 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

椋山女学園大学は、本学の教育理念「人間になろう」の下、次のような目標と能力を持ち、大学で得た知性と教養を活かし、「人を大切にし、人と支えあい、自らががんばれる人」となるための教育を目指します。このような教育方針に共感する人であって、次のような意欲・能力を持った人を受け入れます。

## 1. 大学での学びを通じ、目的や目標を持てる人

学びたい専門分野・領域、研究テーマがある人、将来社会に出てやりたいことや仕事がある人、取り組んでみたい課外活動や社会活動・ボランティア活動がある人

## 2. 大学で学ぶための基礎学力を有する人

学習の基盤となる国語、数学、外国語及び各学部学科が必要とする教科について一定基準以上の基礎学力（知識・理解）を有する人

## 3. 自分の能力を高めたい人

自ら考え（思考力）、決定し（判断力）、それを伝える（表現力・コミュニケーション力）能力を高め、自己を成長させることができる人

## 4. 主体性を持って多様な人と協同して学べる人

授業以外にも、生徒会活動、課外活動（スポーツ、文化など）及び社会活動（ボランティア、地域交流、国際交流など）に積極的に参加してきた人で、その経験を大学での学びに生かせる人

各学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、次のとおりです。

学部学科	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
生活科学部	生活科学部では、生活の中の身近な科学、すなわち、衣・食・住のいずれかに携わる職業人を輩出するという明確な方針に基づき、その教育目標を十分に理解し、それに相応しい基礎力を有する人を受け入れます。
生活科学部 管理栄養学科	管理栄養学科は、将来「食と健康」を基盤とする保健・医療・福祉、食育及び食品関連分野などの専門領域で活躍できる人を望んでいます。これらの分野の仕事に管理栄養士として従事し、社会貢献したいという目的意識と勉強意欲を持ち、「化学基礎」と「生物基礎」を含む基礎学力を有する次のような人を受け入れます。 1. 本学科の目的を理解し、向上心が旺盛で学びに意欲的な人 2. 「食と健康」分野に関心が高く、学んだ知識と技術で社会貢献したい人 3. 人間性が豊かで、自身の成長、周囲との和と協働に努められる人
生活科学部 生活環境デザイン学科	生活環境デザイン学科では、本学科の専門領域を学習するための基礎学力を有し、感性的表現力、あるいはコミュニケーション能力、理系的能力などに優れている人を受け入れます。本学科では、生活環境を構成するアパレルメディア、インテリア・プロダクト、建築・住居の各分野に関連した「ものづくり」について、生活者・消費者の視点から科学的に探求し、それを具体的なデザインとして提案・実践する力を養成しますので、高等学校においては、文系、理系を問わず、できるだけ多くの科目を履修しておくことが望まれます。
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学部では、「ことば」に対する基本的関心を前提として、言語及び文学や芸術などのさまざまな文化に関心があり、コミュニケーション能力を高めたいと考える次のような人を受け入れます。 1. 一定の基礎学力があり、将来への明確な目的を持つ人 2. 「ことば」を中心としたコミュニケーション能力の向上に関心を持つ人 3. グローバルな社会における「ことば」と文化を深く理解し、論理的思考、問題発見・解決能力、自己表現力の向上に関心を持つ人
国際コミュニケーション学部 国際言語コミュニケーション学科	国際言語コミュニケーション学科では、一定の基礎学力を有し、将来への明確な目的意識を持つことのできる人で、外国語や異文化に高い関心を持ち、コミュニケーションに積極的な姿勢を持っている人を受け入れます。とりわけ、外国語や異文化に対して、多角的な視点から自分のテーマを発見し追求していける人、集中力を持って意欲的に勉学に取り組む人を望みます。本学科での学修に際して必要とされる基礎学力として、高等学校において実用英語技能検定2級程度、ないしはそれと同等の英語運用能力を有することを求めます。
国際コミュニケーション学部 表現文化学科	表現文化学科では、一定の基礎学力を有し、将来、コミュニケーション能力や表現力、文化的素養等を生かす社会に貢献できる人を望んでいます。そのため、国内外を問わず、古代から現代まで幅広い文化や表現に深い関心を持ち、それらを深く学ぶ勉強意欲にあふれ、その知識をバックボーンとしたコミュニケーション能力を身に付けることに強い意欲を有する、好奇心旺盛な人を受け入れます。入学後、専門的な授業内容を理解するために、高等学校においては「国語」「英語」「日本史」「世界史」等を中心とした文系科目をしっかり学習しておくことが望まれます。
人間関係学部	人間関係学部は、人間と人間関係及び人間の心理に関する専門の学術を学際的かつ総合的に教授研究します。本学部は、広範な知識、総合的な判断力及び深い洞察力を有し、人間と人間関係及び心理に関する諸問題を解明・解決することができる高度な人間関係を備えた人材を養成します。本学部では以上の目的を共有する強い学習意欲のある人を受け入れます。

学部学科	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
人間関係学部 人間関係学科	<p>人間関係学科では、教育上の目的を実現するために、授業科目を履修する上で必要な基礎的な能力及び学習意欲を持ち、さらに以下の能力関心を持った人を受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分自身や自分の周囲の人との人間関係やそれを取り巻く社会に強い関心を持っていること</li> <li>2. 自分から問題や課題を発見しその解決に取り組もうとする積極的な意欲や態度を持っていること</li> <li>3. 高校までの勉学を通して、学習の場でのコミュニケーションに必要な理解力と表現力を身に付けていること</li> </ol>
人間関係学部 心理学科	<p>心理学科では、教育上の目的を実現するために、授業科目を履修する上で必要な基礎的な能力及び学習意欲を持ち、さらに以下の能力関心を持った人を受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間や人間関係に強い関心を持ち、人間のこころについて強い関心を持っていること</li> <li>2. 心理学に強い関心があり、そのなかで課題を発見し解決しようとする積極的な意欲や態度を持っていること</li> <li>3. 高校までの勉学を通して、基礎学力を身に付け、心理学的な事象に対する知識を活用して判断し、主体的にコミュニケーションする能力を持っていること</li> </ol>
文化情報学部	<p>文化情報学部では、本学の教育理念「人間になるう」についての深い関心のもと、大学教育を受けるための基礎学力を有し、高度に進展しつつある情報化と国際化の社会状況の中で、文化に関心を持ち、社会の発展に貢献しようという意欲のある人を受け入れます。具体的には、次のような人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間や社会、文化に関わる様々な事柄に対して関心を持ち、広く学際的な知識を修得したいと考える人</li> <li>2. 人間や社会、文化に関わる事柄を論理的、科学的に分析・考察し、自分の意見を持ち、表現する能力を修得したいと考える人</li> <li>3. 自国の文化と異文化への理解に関心を持ち、異文化とのコミュニケーションをはかれる教養と能力を修得したいと考える人</li> <li>4. 外国語の能力や情報関連の知識と技能を活用して社会で活かしたいと考える人</li> <li>5. 社会人としてふさわしい知識と教養を持ち、21世紀に生きる人間として必要な基礎的な能力、対人関係能力を修得したいと考える人</li> <li>6. 大学教育を受けるための基礎的な学力を有している人</li> </ol>
文化情報学部 文化情報学科	<p>文化情報学科では、文化や社会、人間に関するさまざまな事象に関心を持ちながら、情報の視点から人間と社会や文化との新しい豊かな関係を考えていきます。情報化が急激に進む現代社会を生きるには、情報を自在に活用できる力を身に付け、幅広い知識と豊かな教養や感性、そして、それらを表現する能力が必要となります。</p> <p>そのため、本学科では、「文化・アーカイブス」「アジア・地域・ツーリズム」「社会・ネットワーク」「情報・コンピューティング」の4つの領域を総合的に学ぶとともに、時間をかけて興味関心を絞り込みながら、情報社会を支える情報通信ネットワークの基礎となる手段や方法の科学的理解に基づいた考え方を修得することもできます。これらの学びを有意義なものにするには、高等学校において、「国語」「数学」「英語」を中心とした基礎的な学力とコミュニケーション能力を身に付けるとともに、知的な好奇心と将来への夢を持ち、さらに自ら学ぶ姿勢と論理的な思考力を身に付けていることが望まれます。</p>
文化情報学部 メディア情報学科	<p>メディア情報学科では、メディアを通じて伝えられる情報を的確に選択、分析、論評し、それらを活用できる能力、また、急速に拡大する情報社会が抱える様々な問題や課題に対処できる能力の養成を目標としています。広くメディアと情報に関心を持ち、メディアと情報が人間・社会・文化に及ぼす影響について学びたい人を受け入れます。</p> <p>本学科での学修を達成するためには、高等学校では「国語」「数学」「英語」といった基礎的な科目の学習を中心にして、文系・理系を問わず、自身が関心を持つ内容に自ら積極的に取り組んだ経験があることが望まれます。</p>
現代マネジメント学部 現代マネジメント学科	<p>現代マネジメント学部では、現代社会における様々な事象に関心を持ち、社会科学（経営・経済・法律・政治）に関する専門知識を修得し、将来、「企業」「地域・公共」「国際」のいずれかの分野においてマネジメント能力を活用できるような職業に就きたいと考えている人を受け入れます。</p> <p>本学部が考えるマネジメント力とは、企業の経営に限ったものではなく、社会生活において発生する問題を解決する能力をいいます。そのため高校時代に、社会科学に関する科目（「地理」「世界史」「日本史」「現代社会」「倫理」「政治・経済」）はもちろんのこと、コミュニケーションをとるための「国語」「外国語（英語）」、情報を分析するための「数学」などをしっかりと学習していることが望まれます。</p>
教育学部 子ども発達学科	<p>教育学部は、教員・保育者として社会に貢献でき、また、生涯に渡って学び、成長し続けられる人材を育てることを目的としています。本学部ではこの目的を理解する、次のような人を受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもや教育に関心を持ち、教員・保育者を志す人</li> <li>2. 本学教育学部での学びの基礎となる、高等学校までの学習内容を修得している人</li> <li>3. 数学の教員免許状（中学校・高等学校）の取得を希望する者は、「数学Ⅱ・数学B」の内容の習得、できれば「数学Ⅲ」の履修</li> <li>4. 音楽の教員免許状（中学校・高等学校）の取得を希望する者は、楽典の基礎及びピアノの基礎技能の修得</li> </ol>
看護学部 看護学科	<p>看護学部では、豊かな人間性と確かな実践力を有する看護職者を育成することを目指します。入学生には、人間に対する積極的な関心を持ち、地域社会に貢献したいという意欲のある人を求めます。看護職者は、多様な対象者の幅広いニーズに応え、適切な支援を行う専門職です。このためには、自己研鑽を続けることができること、さらには、周囲と協調し、チーム医療等の調整役としての高度なコミュニケーション能力を育むことが求められます。本学部入学生に求める基礎学力は、コミュニケーション能力の基本となる「国語」「英語」、そして、論理的思考力の育成及び医学的基礎を理解する「数学」「理科」です。</p>